

平成 30 年度第 5 回外部評価委員会での主な意見

平成 30 年 11 月 1 日 (火) 15:00～17:00

市役所 4階 大会議室

議事

平成30年度外部評価報告書について

- ・あまり進捗が良くない事業は、全課を挙げて部長、課長の指導を強化すべき。
- ・「別の方法を考える」とあるが、まち協や商工会議所等と密に連絡をとり、意見交換しながら方法を考えるべきではないか。
- ・「事業効果が出ていないなど事業計画に問題がある場合には随時改善、変更する」「事業を進める段階において財源を有効に活用する」ということが大切。今のものをどうするか、新しいものを作るのではなく、どのように活かせるか考えてほしい。
- ・地域の特色を出せるような事業を展開し、市の担当者と地域の人との連携をとるべき。
- ・縦割り行政が多いように感じる。大きな仕事をやる時に、複数の関係する部署が横断的に言及すべき。
- ・公民館、まち協、指定管理など、市民に色々なことが投げかけられている。地域の人たちの取り組み方で今後の事業内容も変わるのではないか。
- ・市民の側から情報をとりに行くことはあまりないように感じる。
- ・市民側がわかろうとする努力も必要。
- ・これから人口が減っていく時代。若い方に色々なチャンスを与えれば、中津川市に帰ってきたいと考える人も増え、移住定住につながるのではないか。